

学校目標

『チーム文花中として、生きる力（豊かな心、確かな学力、健康・体力）を伸ばし、社会に貢献できる生徒を育む学校』を目指す。

I 教育目標、育てたい生徒像、目指す学校像、目指す教師像

【教育目標】

21世紀を担う社会の一員として、自分の人生を切り拓いていける生徒の育成を目指し、次の目標を掲げる。

○豊かな心をそなえ、自ら学び・考え、健康で安全な生活を営み、たくましく生きる生徒

(1) 育てたい生徒像

- ① 多様な文化や互いの人権を尊重し、自他を大切にする生徒
- ② 学ぶことの意義と喜びを知り、夜間学級生としての誇りをもち、自ら学び・考える生徒
- ③ 心身共に健康で、文武両道の精神をもち、何事にも粘り強く取り組む生徒
- ④ 国際社会の一員として、社会に貢献できる生徒

(2) 目指す学校像

- ① 「分かる」「できる」「楽しい」が実感でき、確かな学力が身に付く学校
- ② 一人一台端末やICT機器の効果的な活用により、教育DXを推進する学校
- ③ 人権を尊重し、昼間学級との交流など、多様な文化の理解を積極的に推進する学校
- ④ チーム文花中として、学校・家庭・地域が力を合わせ共に歩む学校

(3) 目指す教師像

- ① 生徒に対する教育的愛情と、教育に対する情熱・誇りをもち、協働できる教師
- ② 高い指導力をもち、生徒の生きる力（豊かな心、確かな学力、健康・体力）を伸ばせる教師
- ③ 教育公務員として職責を自覚し、常に研鑽に励み、サービスの厳正を図ることができる教師

2 令和6年度の重点

(1) 「分かる」「できる」「楽しい」が実感でき、確かな学力が身に付く学習指導

- ① 「授業で勝負！」を合言葉に、綿密な授業・評価計画に基づき、主体的・対話的で深い学び（個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実）を実現する。
- ② 毎日の授業・家庭学習を大切にさせ、毎回の授業でアウトプットさせ、基礎・基本の確実な定着を図る。
- ③ 一人一台端末やICT機器の効果的な活用により、教育DXを推進する。
- ④ 認め励ます「ほめて育てる」指導、「できた」という達成感を充実させる工夫を通して、生徒の自己肯定感を高める。
- ⑤ 授業力の向上を目指し、常に自己研鑽に努める。
- ⑥ 生徒の「授業評価」を活用し、授業改善を図る。

(2) 基本的な生活習慣の定着と豊かな人間関係を育成する生活指導

- ① すべての教育活動を通して、偏見や差別をなくし、自他の生命、人権を尊重する教育を推進する。
- ② 教師が率先垂範し、挨拶や身だしなみ、時間や約束を守る指導を充実し、社会のマナー・ルールを理解・実践できる生徒を育成する。
- ③ 教育相談を通して、生徒一人一人の心のケアを図る。スクールカウンセラーや外部相談機関と連携し活用を図る。
- ④ いじめ・問題行動・不登校への対応は、集団活動を通じた「心の居場所づくり」「絆づくり」による未然防止と、「共通理解・全員指導」をスローガンとした早期対応により解決を図る。

(3) 自主的な活動の促進と感動ある学校行事の創造

- ① 「人は環境で育つ。その環境は人がつくる。」という認識のもと、自主的な活動を促進し、自主性や主体性を育成する。
- ② 学校行事の充実や連合行事への積極的な参加を図り、所属感、連帯感を育み、文中生としての誇りを持たせる。

(4) 保護者・地域に開かれた学校づくり

- ① 家庭・地域との連携を図り、信頼関係を深め、同じ歩調で生徒を指導する学校を目指す。
- ② 学校HP・COC00配信等を活用し、学校の教育活動を保護者・地域に広く公開し、協力を得る。
- ③ 「地域ふれあい祭り」等、育成委員会主催の行事に積極的に関わる。
- ④ 地域にできた2大学との連携を図り、進路指導等に役立てる。
- ⑤ 「学校評価」活用し学校教育の充実・改善を図る。